**科目名：ビジネスモデル研究**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **担当教員** |  | | | | |
| **科目の種類** | 専門 | **単位区分** | 必須 | **単位数** | 6 |
| **授業方法** | **講義・演習** | **開講学期** | **後期** | **学年** | **3年** |
| **学科・コース** | **スポーツサイエンス学科** | | | | |

## 授業概要

　ビジネスモデルが、「顧客がだれか」「何の価値を提供するのか」「どのようにその価値を提供するのか」「なぜそれが利益を生み出すのか」に着目してそのモデルについて分析を行う。

## カリキュラムにおけるこの授業の位置付け

　前提となる授業は、「デザイン思考」である。ビジネスモデルの研究では、従来のビジネスモデルの分析を行い、その上でデザイン思考による新しいイノベーションを加えたビジネスモデルの提案を行う。

## 授業項目　（6コマ＝48回）

### ビジネスモデルとは

ビジネスモデルの種類について

### 身近なビジネス

漁業・農業について、原価・売上・利益の仕組みを説明

### 将来の「ビジネスモデル」を描く

演習：３W１Hの項目で報告書を探す

### 会社のお金の流れ

会社のお金の流れについては9つの流れがある。これらのお金の流れについて解説する

### 会社のお金の流れを復習する

前回の復習と、小テストの実施

### ビジネスモデル図鑑

おれのフレンチをサンプルに説明

### あなたのビジネスモデル（報告書）

前回の続き

### ビジネスモデル図鑑

小松製作所をサンプルに説明

### SWAT分析

SWAT分析について解説を行う

実企業に対して、SWAT分析を行い、企業の弱み・強みを考える

### 演習

分析対象企業の設定

分析対象企業に対しての分析

分析対象企業に対してイノベーションの提案

### ビジネスモデルのキャンパスについて

「顧客セグメント」「価値提案」「チャネル」「顧客と関係」「リソース」「主要活動」

「パートナー」「収益の流れ」「コスト構造」

### 戦略キャンバスの4つのアクション

業界の常識として、製品やサービスに備わっている要素のうち、取り除くべきものは何か？

業界の標準と比較して、思い切り減らすべき要素は何か？

業界の標準と比較して、大胆に増やすべき要素は何か？

業界でこれまで提供されていない、今後付加するべき要素は何か？

### VRIO分析

競争優位の源泉を企業独自の経営資源によるものとして捉え、その経営資源や組織能力を分析する際に用いるフレームワークについて学習し、実際の企業分析を行う。

### ビジネスモデル図解ツールキットを使用したビジネスモデルの分析

ビジネスモデル図解ツールキットを使用して、ビジネスモデルを図解化して検証を行う。

### 経営システムの評価の構造と要因分析方法

評価の項目である「ドライバー」「イネーブラー」「パフォーマンス」の3つのクラスタを理解し企業分析を行う。

経営システムモデルの図解化について学習する

### ビジネスモデル・キャンバス・ジェネレーション

ビジネスモデルキャンバスから導かれる９つの構成要素から分析を行う方法について学習する。

勝利企業の分析（Google、Amazon、Skypeなど）

### ビジネスモデルツリーとビジネスモデルマップ分析

ビジネスモデルツリーとビジネスモデルマップのフレームワークについて理解する。

現在の勝利企業に当てはめてビジネスモデルの分析を行う。

### ビジネスモデルイノベーションフレームワーク

すでに提案されているイノベーションを起こす「フレームワーク10」について理解する。

9つの構成要素とリスク要素の10戸でビジネスモデルを分析する方法について学習する

### 成長戦略の分類

23種のビジネスモデルを分類しモデルの強みを詳細分析する

### 顧客セグメントの強化パターン分類

ビジネスモデルの分類・整理とパターン化について学習する

### ビジネスモデル分析法の特徴についてのまとめ

### 共感マップによる新規ビジネスモデルの分析

共感マップから自社の現状を把握する。

### 単位認定試験

### ビジネスモデル分析演習　　①課題設定　　（ゼミ演習）

ビジネスモデルの分析となる企業を設定し、そのビジネスモデルの分析と企業に合わせたビジネスモデルの提案を行う。以降の回では、ここまでの講義の中で学習した分析手法と、それに対するビジネスモデルの改善提案を行い報告書として作成する。

### ビジネスモデル分析演習　　②企業のSWAT分析

### ビジネスモデル分析演習　　③ビジネスモデルのキャンパス分析

### ビジネスモデル分析演習　　④VRIO分析

### ビジネスモデル分析演習　　⑤ビジネスモデルツリーとビジネスモデルマップ分析

### ビジネスモデル分析演習　　⑥成長戦略分析

### ビジネスモデル分析演習　　⑦新規ビジネスモデルの分析

### ビジネスモデル分析演習　　⑧報告書作成

### ビジネスモデル分析演習　　⑨報告書作成

### ビジネスモデル分析演習　　⑩発表資料作成

### ビジネスモデル分析演習　　⑪発表

### ビジネスモデル分析演習　　①課題設定　　（ゼミ演習）

ビジネスモデルの研究分析について、他業種・他企業で再度行う。

### ビジネスモデル分析演習　　②企業のSWAT分析

### ビジネスモデル分析演習　　③ビジネスモデルのキャンパス分析

### ビジネスモデル分析演習　　④VRIO分析

### ビジネスモデル分析演習　　⑤ビジネスモデルツリーとビジネスモデルマップ分析

### ビジネスモデル分析演習　　⑥成長戦略分析

### ビジネスモデル分析演習　　⑦新規ビジネスモデルの分析

### ビジネスモデル分析演習　　⑧報告書作成

### ビジネスモデル分析演習　　⑨報告書作成

### ビジネスモデル分析演習　　⑩報告書作成

### ビジネスモデル分析演習　　⑪発表資料作成

### ビジネスモデル分析演習　　⑪発表

### ビジネスモデル分析演習　　⑪発表における指摘事項の修正

### ビジネスモデル分析演習　　⑪発表における指摘事項の修正

## 授業の進め方

　ビジネスモデル研究において、分析対象となる実企業を元に、そのビジネスモデルを分析をし、思考に関する考え方については講義を行い、講義後に演習を行う。演習を行うことで、全体の理解を即す。

## 授業の達成目標（学習・教育到達目標との関連）

　本コースを履修することで、サービスを展開したり、プロダクトを作成したりするために、従来の方法では生まれない方法を発見・行うことができるようになる。

## 成績評価の基準および評価方法

単位認定試験の結果（80%）と、授業の参加態度（20%）を持って、評価する。

## 授業外学習（予習・復習）の指示

予習については、特になし。

復習については、授業で行った基本的なプログラムについて記述できること。

## 教科書

なし。

**参考書**

なし。

**実務経験**

**備考**

なし。